特定施設入居者生活介護〈未来型介護モデル施設〉公募にかかる 開設予定地の変更について

1, 経緯

選定事業者から、当初の開設予定地である土地所有者（当該事業は賃借して実施予定）の諸事情により、第9期介護保険事業計画内での開設が困難となったため、申請時の機能要件を備えた施設を開設可能な土地への開設予定地変更の相談を受けた。については、第9期介護保険事業計画内での事業開始に向けて、事業者選定時同様の第三者機関「未来型介護モデル施設審査委員会」を開催し、用地変更に伴う影響について審査を行った。

2, 未来型介護モデル施設審査委員会

【開催日】令和7年3月17日～26日

【議題】開設予定地変更の承認について

開設予定地の変更による影響について、検討いただいた結果、全会一致で承認された。

変更による影響に関する検討結果

- 新たな開設予定地は、生活の利便性や周辺環境の観点から、安全で快適に暮らせる地域であることに加え、利用者の生活空間となる延床面積についても、当初提案と同程度を確保している。
- 施設のコンセプト、機能面及びサービス内容には変更がなく、利用者の生活に及ぼす影響は極めて僅少であると考えられる。
- 未来型介護モデル施設として特徴のあるラボルーム・会議室・多目的室は、同程度の占有面積を確保しており、モデル施設としても支障なく運用が可能であると考えられる。

その他審査員の意見

利用者や家族の視点

- ・JR九州工大前駅やJR戸畑駅など公共交通の利便性が高くなる。
- ・近傍に急性期病院や老健施設があり、医療介護連携が行いやすい。

大学や企業との連携の視点

- ・利便性が高く密な連携がとれる立地である。

その他

- ・周辺の介護施設との連携が見込める一方で、介護職員の異動が発生する可能性も否めない。
- ・今後速やかに近隣の医療法人との連携協力体制を構築することが望ましい。

○問い合わせ

北九州市 保健福祉局 先進的介護システム推進室
電話：093-582-2712 FAX：093-582-2095